

多賀神社と知多【理事長コラム】

知多南部の人々は、厄年にはかつて滋賀県の大賀神社へお参りに行くのが常であったが、最近は常滑の知多多賀神社へ行くようである。祭神はイザナギ命であり、淡路島には伊弉諾神社がある。

江戸時代までは各地に神社の宣伝マン「御師」が来て布教を広めていた。一番大きなものは伊勢神宮であったが、多賀神社へも御師が近江から尾張へ訪れていた。特に知多南部へ訪れていたらしい。

尾張西部の稲沢や一宮は、天下明命（あめのほあかりのみこと）という神を祀る国府宮神社や真清田神社が主流である。

愛知県には海部族が多く暮らしていたが知多南部と尾張西部の信仰は若干異なっている。歴史上、知多と近江はつながりがあり、淡路島も近い存在である。



理事長 田中 誠

ケーキ作りを楽しみました

スイーツ作り企画として、あんこを使ったケーキ作りを行いました。

ご利用者には、最後の仕上げで生地の中にたっぷりあんこを入れてもらい出来上がりです。

午後のティータイムは、ケーキとお好きな飲み物で！ご利用者から素敵な笑顔をいただきました。

「生地のおあんこがほどよく美味しいね」「自宅でも作ろうかな」との声も聞かれました。



函館へ行ってきました

職員旅行で北海道函館へ、1泊2日で行ってきました。

大沼公園、金森倉庫、五稜郭など、函館を代表する観光地を巡り、夜は函館山からの素晴らしい夜景を見ることもでき、充実した旅行でした。



あい寿の丘 ほっかほか

ふれあいホットニュース

2020年2月 節分号



節分を楽しみました



毎年の行事として実施される節分の日を迎えました。

ご利用者が豆を手にとり、鬼の衣装に扮した職員に向けて一生懸命「鬼はそと・福はうち」と声を出しながら、豆を投げました。

ご利用者は笑い声をあげたり、豆をたくさん投げたりと、いつもとは違う活気があってとても賑やかです。

また、おやつには、鬼の形をした饅頭を頂き、皆さんには季節感を味わって頂くことができましたのではないのでしょうか。



お正月の書初め

南知多町デイサービスセンターのレクリエーションで書初めを行いました。

筆や墨を用意して、皆さんにお勧めすると最初は「え～書いて」との声。

でも筆を持つとやる気が出たのか、自ら書き始められ、思いの文字をしっかりと書いていました。



ひだまりの皆さんは、若い頃には筆で文字を書く事は普通でしたが、今となっては苦手になってしまった様です。

最初は「嫌い・ヤダ」と言いながらも、いざ始めると、すらすらと達筆で書かれていました。

どの字にしようか？一文字の方がすぐに書けるからとか、この字は好きだからとか色々とお話をしながら書かれていました。



あい寿の丘では新年の恒例行事、書初めをご利用の皆さんと楽しく行いました。

手慣れた感じで流石ですね。

作品をしっかりと手にして笑顔で見せて下さいました。

書かれた文字は、それぞれの思いのこもった文字ですよ。



ケアハウスで毎年恒例の新年家族懇親会を開催



ちらし寿司・サラダ・フルーツ・お刺身を見て「ご馳走だね～」「嬉しいね」とニコニコ顔です。ハーモニカボランティアさんの演奏を聴き、ビンゴで盛り上がり、今年も元気で過ごせますようにと願いながら楽しいひと時を過ごしました。

南知多町デイサービスのお守り作り

今年も良い年でありますようにとお守りを作りました。

牛乳パックの台紙に着物地を包んで貼り付け、色とりどりの紐を各自で選んで、職員が結びました。

「健康祈願」「お守り」「百歳招福」「夫婦円満」など、皆さんの思いを入魂しました。



美味しいおはぎを堪能しました

お彼岸さんには早いですが、餅米100%でもっちりのおはぎを作りました。

炊きあがった餅米を少しつぶし、ラップに包んで平らに伸ばし、あんこをのせて丸めます。その上にきな粉をまぶして出来上がり。

スプーンで小さく切って口に入れると「うまい！」と大変喜ばれました。

サーカスを楽しんできました

愛知県社会福祉協議会より、ポップサーカス豊田公演にご招待頂き、豊田スタジアム横の特設大テント会場へ行ってきました。

リボン・アクロバット、ミュージックバンド、イリュージョン、ジャグリング、空中ブランコなどで約2時間、はらはらドキドキの場面・感動や笑いで、楽しいひと時を過ごすことができました。



映画観賞会に行ってきました



知多厚生病院映画祭「妻の病-レビー小体型認知症-」を観てきました。「色々な種類の認知症があるんだね」「旦那さんの愛情があふれとったね」と感想は色々です。その後は鵜の池でランチを堪能「外で食べるご飯は美味しいね」とお腹一杯！